

しらすぎ

しらすぎ保育園
VOL50 NO.10
(通巻 597号)<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

新年あけましておめでとうございます

園長 秋保めぐみ

年頭にあたり、気持も新たに、職員一同気持を引き締め、安全をベースに保育に専念いたします。本年も子どもたちに寄り添い、あそびを通して生きる力を育ててまいります。

さて、幼児教育の場は刻々と変化し続けております。保育園の無償化、保育指針の改良、待機児童問題等々。特に待機児童の問題は、解消するためにただただ園児を入れる保育施設を作って解消しようとしているようにしか思えません。保育施設が増えても、中で働く保育士がそろうの？保育士の質は？と疑問が残ります。0才から6才までの人間形成の一番大切な時期だからこそ良い人材、感性豊かな保育士が必要なのです。国は、保育士の仕事は子どもたちの成長にかかわるやりがいのある仕事だということをもっとアピールし、“しんどい仕事、給料が少ない”という意識を払拭してほしい。保育士になろうという情熱を持った若者たちにのために助成金を充実させたり、スキルアップのための研修の場を設けたりして、将来保育士になるための後押しをしてやってほしいと切に望みます。これから社会を担う子どもたちの成長のために。

❖ 1月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	あそびの中で	紙を破る、丸める、積木をつむ、シールをはがすなど手や指先の発達を促す。
1才児	乾布まきつ	音楽に合わせてタオルで体をゴシゴシ♪楽しみながら寒さに負けない強い身体を作ろう。
2才児	元気いっぱい	しっぽとりゲームや鬼ごっこなど、寒さに負けず戸外で元気いっぱいあそぶ。
3才児	きれいな歌声	ピアノの音をよく聞いて歌う。音程や速さに気をつけることで、みんなのきれいな歌声が響き、歌うことが楽しくなる。
4才児	あいうえお	しりとりやカルタなどの言葉あそびをする中でひらがなに興味を持ち、自然に「読みたい」「書きたい」という気持が高まる。
5才児	しあわせつくり 思い出つくり	卒園まで後3か月。保育園生活で心に残る思い出は、いつも友だちと一緒に。芽生えた友情、保育者との関係を大切に毎日を有意義に過ごす。

子どもによくみられるうつる病気 その5

～インフルエンザ～

嘱託医 宮崎医院小児科 宮崎 裕美

今回は、インフルエンザについてお話します。主にA型とB型の2種類があります。飛沫や接触により感染します。感染してから平均2日(1～4日)後、突然の高熱、体の痛み、倦怠感、頭痛、目痛などの全身症状がみられその後、咳、鼻汁、咽頭痛や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が現れます。肺炎、熱性痙攣、脳症など心配な合併症があり注意が必要です。

インフルエンザの診断は、周囲の流行状況、症状、検査の結果などによりします。ただし発症早期には、感染していてもウイルスの量が少なく検査をしても陰性になることがあります。発症してから48時間以内に抗インフルエンザ薬(タミフル)を服薬あるいは吸入(リレンザ、イナビル)するとウイルスの増殖が抑えられ熱の出る期間が短くなり症状が軽くなります。薬の種類や服用の有無にかかわらず発症から数日(主に2日以内)は異常行動(突然走り出す、飛び降りるなど)が報告されています。インフルエンザと診断されたら少なくとも2日間は、お子様が一人にならないようにしてください。熱の出た次の日を1日目と数え6日目より、かつ解熱してから3日経過したら登園できます。かかりつけ医に登園許可書をもってください。予防法は手洗い、うがい、ワクチン接種などです。可能な限り毎年ワクチンを接種しておきましょう。

買い物ごっこ&ままごと

ゆり組(5才児)担任 須田 尚子

食育の一貫として買い物ごっこやままごとあそびをしています。数年前に食育教材として職員全員で紙粘土や画用紙などを使って、魚、肉、パン、野菜などたくさんの食材を作り、みんなに楽しんでもらってきました。今年はそのあそびがよりリアルなままごとあそびに発展するように、冷蔵庫、レンジ、コンロ、流し台、包丁、まな板、食卓テーブル、椅子を作成しました。先日ゆり組でもホールであそび、大変盛り上がりました。食への興味関心をもってほしいというねらいはもちろんですが、ごっこあそびは想像力、社会性、言葉の力が育ちます。又、異年齢交流にもピッタリです。卒園までの間に交流をもっと深めていきたいと思えます。



❖ 1月のプラン

5日(金) 平成30年保育開始日
15日(月) 弁当日
19日(金) 誕生会

<17日(水) カンガルー広場(園庭開放)>

<編集後記>

お正月と言えば、かるたや福笑い、こま回しや凧あげなど昔ながらの伝承遊びを連想します。私も子どもの頃、お正月に親戚が集まり、いとこ達と楽しんだ思い出があります。近年は、テレビゲームやスマートフォンのゲームなど、新しいあそびに子ども達は夢中ですが是非この機会に日本の文化に触れ、伝承あそびを楽しんでみてはいかがでしょうか? (蔵元)

<今月の担当:小田嶋・須田・蔵元・中村>